1　調査名　「発酵鶏糞堆肥」施肥効果の検討

2　目　的　「発酵鶏糞堆肥」（ねぎ）の適正な施用について調査・研究し、家畜排泄物を利用した堆肥、肥料の利用を促進するとともに循環型農業の普及を図る。

3　耕種概要

（1）は種月日　平成 24 年 4 月　3 日

（2）定植月日　平成 24 年 5 月 16 日

（3）供試品種　夏扇パワー

（4）栽植距離　うね幅 100 ㎝×株間 5 ㎝×2 本(40,000 本/10a)

（5）土壌診断結果

調査区名		ｐＨ	ＥＣ (mS/cm)	有効態リン酸 (mg/100g)	リン酸吸収係数 (mg/100g)	ＣＥＣ (me/100g)	塩基飽和度 (%)	石灰 (mg/100g)	苦土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)
作付前		6.9	0.08	38.7	1,895.8	25.3	75.3	360.64	102.62	53.07
収穫後	試験区1	6.9	0.10	53.2	1,796.3	23.4	76.2	352.34	80.83	61.02
	試験区2	6.6	0.17	61.6	1,799.8	24.7	75.2	370.14	76.02	75.56
	慣行区	6.5	0.14	56.8	1,761.1	23.1	71.8	338.39	64.87	62.70

（6）施肥設計

調査区	肥料名	成分（%） N	P	K	施肥量/10a (kg)	追肥	成分量/10a（kg） N	P	K
試験区１	堆肥	2.49	4.48	3.59	240	ハイパーＣＤＵ555 (15-15-15) 80kg/2回/10a	18.0	22.8	20.6
試験区２	堆肥	2.49	4.48	3.59	120		18.0	20.4	19.3
	ハイパーＣＤＵ555(中期)	15	15	15	20				
慣行区	ハイパーＣＤＵ555(中期)	15	15	15	40		18.0	18.0	18.0

4　収量調査(調査日 10 月 10 日)

調査区	調整後 1 本重(g)	全長 (cm)	分枝点 (cm)	軟白長 (cm)	軟白径 (mm)	2L，L率 (%)	A品率 (%)	総収量 (kg/10a)
試験区1	194.7	86.3	38.6	32.4	21.8	95.0	100.0	6,228.8
試験区2	194.4	86.4	39.5	34.0	22.6	100.0	100.0	6,219.2
慣行区	208.7	87.9	39.9	34.6	23.3	100.0	100.0	6,678.4

左：慣行区　　中央：試験区２　　右：試験区１

5　結果の概要

①生育状況については、生育初期では慣行区が試験区１、試験区２に比べ生育が進んだが、収穫が予定より遅れたため、収穫時には差はほとんど見られなかった。

②病害虫については、全ての区でアザミウマが散見され差は見られなかった。

③総収量については、慣行区で最も高く、次いで試験区１、試験区２の順となった。

④品質については、慣行区が最も軟白径が太く、軟白長が長くなったが、若干収穫遅れと思われるものもあった。

以上の結果から、ねぎ栽培で発酵鶏糞堆肥を使用する場合は、収量は若干劣るものの品質には問題無いと思われる。